

2022ミュージアム・レクチャー 実施報告

「森の生き物探検隊－香川の里山を調べよう－」

実施日時：

①第84回ミュージアム・レクチャー

「化石の発掘体験をしよう」

2022年7月30日(土) 10:00～11:30

※9:30受付開始

②第85回ミュージアム・レクチャー

「水辺の生き物を観察しよう」

2022年8月6日(土) 10:00～11:30

※9:30受付開始

③第86回ミュージアム・レクチャー

「里山の昆虫を観察しよう」

2022年8月7日(日) 9:30～11:00

※9:00受付開始

香川大学博物館 ミュージアム・レクチャー

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、お天気に合わせて実施します。
内容の詳細は、香川大学博物館ホームページの「森の生き物探検隊」をご覧ください。

令和4年度「香川県教育委員会 家庭・地域教育力再生事業」(地域で共育！) 補助金助成事業

「森の生き物探検隊」 香川の里山を調べよう

香川大学博物館 香川大学博物館 香川大学博物館

① 化石の発掘体験をしよう

太古の生物の歴史について学び、岩石から植物や昆虫の化石を取り出そう

2022年7月30日(土) 10:00～11:30 (9:30受付開始)

会場 香川大学博物館 (香川大学香川キャンパス内)

講師 香川大学博物館 香川大学博物館

対象 小学生とその保護者 親子10組(最大20名・参加費無料)

② 水辺の生き物を観察しよう

ため池のある里山の環境で、植物や昆虫を観察しよう

2022年8月6日(土) 10:00～11:30 (9:30受付開始)

会場 香川大学博物館 (香川大学香川キャンパス内)

講師 香川大学博物館 香川大学博物館

対象 小学生とその保護者 親子15組(最大30名・参加費無料)

③ 里山の昆虫を観察しよう

昆虫の多様性について学び、カブトムシやクワガタなどの昆虫を観察しよう

2022年8月7日(日) 9:30～11:00 (9:00受付開始)

会場 香川大学博物館 (香川大学香川キャンパス内)

講師 香川大学博物館 香川大学博物館

対象 小学生とその保護者 親子15組(最大30名・参加費無料)

7月19日(火) 必着 往復はがき

香川大学博物館ホームページから「森の生き物探検隊」の申し込みをダウンロードして印刷し、必要事項を記入の上、往復はがきで郵送してください。10月以降の開催に合わせて往復はがきを郵送してください。

※往復はがきの郵送は、香川大学博物館のホームページに掲載されている「森の生き物探検隊」の申し込みページから行うことができます。

※往復はがきの郵送は、香川大学博物館のホームページに掲載されている「森の生き物探検隊」の申し込みページから行うことができます。

お問い合わせ 香川大学博物館 7760-8521 高松市香川1-1 TEL: 087-832-1300

主 催：

令和4年度香川県教育委員会 家庭・地域教育力再生事業「地域で共育！」

森の生き物探検隊実行委員会

新型コロナウイルス感染症防止について：

香川県から当初策定：令和2年7月10日、直近改正：令和3年6月28日改正「催物（イベント等）の開催にあたっての留意事項について」に沿って、次のように行った。

- ・「新しい生活様式」に基づき、受付時にフェースガードを装着、非接触式体温計で検温、手指のアルコール消毒及びマスク着用を義務付けた。また、熱中症の備えとして経口補水液を準備した。
- ・「3つの密」に対して、受付時のソーシャルディスタンス（足形を貼付）、定員の厳格化、「化石の発掘体験」では、屋外のテント下で実施した。
- ・受付時に参加者全員へ「健康チェック票」の記入を実施した。



■第84回ミュージアム・レクチャー「化石の発掘体験をしよう」

日 時:2022年7月30日(土) 10:00~11:30 ※9:30受付開始

場 所:雨滝自然科学館(さぬき市大川町富田中515-2)

講 師:森 繁氏(雨滝自然科学館館長)

寺林 優氏

(香川大学博物館長、香川大学創造工学部教授)

参加者:小学生11名、保護者9名 計20名



■第85回ミュージアム・レクチャー「水辺の生き物を観察しよう」

日 時:2022年8月6日(土) 10:00~11:30 ※9:30受付開始

場 所:国営讃岐まんのう公園自然生態園

(まんのう町吉野4243-12)

講 師:佐藤 明氏(香川植物の会)

青木修一氏(香川植物の会)

小宅由似氏(香川大学創造工学部助教)

参加者:小学生17名、保護者14名 計31名



■第86回ミュージアム・レクチャー「里山の昆虫を観察しよう」

日 時:2022年8月7日(日) 9:30~11:00 ※9:00受付開始

場 所:香川大学農学部附属農場 (さぬき市昭和300-2)

講 師:松本慶一氏(NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川)

川崎浄教氏(香川大学農学部准教授)

参加者:小学生15名、保護者13名 計28名



参加者のこえ

児童

- ・きれいに割るのが難しかったけど、化石がたくさん出てきてうれしかったです。
(2年生)
- ・先生が教えてくれて楽しかった。(4年生)
- ・色々なトンボや水性昆虫を観察することができました。どの昆虫がどこに住んでいるのかや、見られる時期などを知ることができました。(6年生)
- ・水辺の生き物の全たいをふかくしりました。シオカラトンボとオオシオカラトンボのくべつなどがわからなくて、オオシオカラトンボは図かんでしか見たことがなかったけれど、今日、つかまえることができ、ちがいがよくわかりました。(4年生)
- ・いろいろと勉強になったし、新たな知しきにもなったのでここで知ったことを生かしていきたいです。(4年生)
- ・いろいろな生きものがいて、もっと知りたいと思いました。(2年生)
- ・発酵のすごさがわかった。カブトムシはバナナの発酵したにおいが好きなのは、はじめて分った。(6年生)
- ・はっこうきんはたいせつだとおもいました。(4年生)
- ・こん虫はきんやこう母ときょうぞんしているということが分かった。(3年生)

保護者

- ・地元の山のことをよく知れました。子どもの集中する姿を見られて良かったです。
- ・図鑑や映像では得られない生の状態での体験は大変貴重で、先生から直接お話を聞きながら実際に見たり触ったりできて、大きく成長できるきっかけになったと思います。本日は、ありがとうございました。
- ・子どもたちが生き生きと、普段は触れないカエルを手づかみしている姿を見て、感心しました。またぜひ参加したいです。貴重な体験をありがとうございました。
- ・ぬかるみに入りながら子どもと一緒に夢中でトンボやバッタを捕まえることができ、よかった。インタープリターの方の説明に驚くことばかりだった。
- ・講義も実技あり楽しめました。
- ・普段なにげなくカブト、クワガタを取りに行ったりしていましたが、カブト虫が出てくる気候など知れて良かったです。発酵が自然界でとても大切なことが分かりとても勉強になりました。
- ・子どもたちを引きつける話しぶりだけでなく、保護者にとってもたいへん興味深い内容でした。
- ・虫トラップの作り方や工夫の仕方に興味をもって話を聞くことが出来ました。